

第4 1回宮城県中学校校内放送コンテスト応募要項

(NHK杯全国中学校放送コンテスト宮城県大会)

1 実施日 令和6年7月2日(火) 13:30～開始予定 (録音・録画作品の審査のみ)

2 会場 仙台市太白区文化センター(たいはつくる)

3 応募締切 (1) 令和6年6月6日(木) FAXで、「参加申込書」を送信してください。
*このときはまだ作品は送らなくて大丈夫です。

(2) 令和6年6月20日(木) ①と③は郵送もしくは直接, ④は銀行振込

①「参加申込書」の原本(職印をおねがいします)

③作品(原稿と, CDもしくはDVD)

※原稿用紙等はNHKホームページよりダウンロードしてください。

http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_j/pdf.html

④参加料(七十七銀行への振り込み)

4 応募先 仙台市立西多賀中学校 宮中視研放送コンテスト係

〒982-0034 仙台市太白区西多賀3丁目10-1

TEL : 022-245-5360

FAX : 022-307-1696

西多賀中学校 事務局 伊丹幸治宛

5 応募方法 ①参加申込用紙の原本, ②作品(原稿, CD・DVD等), を郵送してください。

※音声ファイル(WAV, MP3, WMA, AAC等)での提出は不可とする。

※アナウンス・朗読部門はそれぞれ1校あたり各3名以内(重複参加可)とする。

※ラジオ・テレビ番組部門はそれぞれ1校あたり2番組以内とする。

6 参加料

今年度は1人(1作品)500円とします。

*各学校の振り込み金額は6月6日以降に申込書に記載頂いたメールアドレスに通知いたします。

*振込手数料は各学校でご負担お願いいたします。

振込先: 七十七銀行 沖野支店 普通預金 預金口座番号 5511453

宮城県放送コンテスト 代表 木下裕士(キノシタ ヒロシ)

※依頼者は学校名を記入(入力)してください。

(なお, センダイシリツやイシノマキシリツなどを省略して入力ください)

例) ニシタガチュウ

7 各部門の課題と参加上の注意

(1) アナウンス部門

(課題) 中学校生活の中から素材を求めた内容とする。

ア 原稿は生徒の自作とし, 校内ニュースやニュース解説など, 自校の校内放送用のもの。
(複数の生徒が同一原稿を読むことは認めない)

イ アナウンス本文は, 20字×20字行以内におさめる。

ウ 録音はアナウンス本文の前に, 都道府県名, 名前を述べる。(録音時の編集不可)

エ 原稿は, A4版様式1-1, 様式1-2を使って書き, 4部(コピー可)提出する。

- オ 提出CDは、アナウンス1名につき1枚とする。
- カ CDは、CD-R（音楽CDと同じ形式）に録音し、複数の一般の機材（CDプレーヤー）で再生できることを確認すること。
- キ CDのラベルは**様式2**に従って記入し、貼付する。
- ク 提出CDの録音やインデックスは、全国放送コンテストの規定と同じとする。

(2) 朗読部門

〈課題〉 次の指定作品のうち、1編をえらび、自分の表現したい部分を決め朗読する。作品のアレンジ・途中の省略は認めない。翻訳作品は、必ず指定された訳者による本を使用すること。

●指定作品

- ① 『羅生門・鼻・芋粥』より「鼻」 芥川龍之介著（角川文庫）
- ② 『窓ぎわのトットちゃん 新組版』 黒柳 徹子著（講談社文庫）
- ③ 『生きるぼくら』 原田 マハ著（徳間文庫）
- ④ 『線は、僕を描く』 砥上 裕將著（講談社文庫）
- ⑤ 『ぶらんこ乗り』 いしいしんじ著（新潮文庫）
- ⑥ 『アルプスの少女ハイジ』 ヨハンナ・シュピリ著／松永美穂訳（角川文庫）

（注意） ※（ ）内の出版社に限る

※ ①は2007年改版のものに限る。

※ ②を選択する場合は『窓ぎわのトットちゃん』を作品名として読むこと。

- ア 朗読のはじめに、**都道府県名、名前、作者名（訳者名は読まない）、作品名**を述べ、それを含めて**2分以内**で朗読する。（録音時の編集不可）
- イ 原稿は、**A4版様式1-1、様式1-2**を使って書き、**3部（コピー可）**提出する。

全国大会の要項には「2部」となっておりますが、**7/2の県放送コンテストでは3名の審査員に審査をお願いする関係で「3部」お願いします。**

- ウ 提出CDは、朗読1名につき1枚とする。
- エ CDはCD-R（音楽CDと同じ形式）に録音し、複数の一般の機材（CDプレーヤー）で再生できることを確認すること。
- オ CDラベルは**様式2**に従って記入し、貼付する。
- カ 提出CDの録音やインデックスは、全国放送コンテストの規定と同じとする。

(3) ラジオ番組部門

〈課題〉 中学校生活から生まれたもので、テーマは自由とする。

- ア **作品の最後に「制作は〇〇中学校放送部（放送委員会等）でした」というクレジットコール（BGMはつけないこと）を入れ、それを含めて5分以上7分以内**にまとめる。
- イ 台本は**様式1-1**を使って右開きに閉じ、仕上がりをもA5版で提出する。1ページを表紙、2ページに制作意図を記入する。3ページ以降は各校で作り、最終ページにはスタッフ・キャストおよび著作権に関する使用内容を記入する。台本は**3部（コピー可）**提出する。
- ウ CDはCD-R（音楽CDと同じ形式）に録音し、複数の一般の機材（CDプレーヤー）で再生できることを確認すること。
- エ CDのラベルは**様式3**に従って記入し、貼付する。
- オ 提出CD-Rのインデックスは、全国放送コンテストの規定と同じとする。

(4) テレビ番組部門

〈課題〉中学校生活から生まれたもので、テーマは自由とする。

ア 番組の前後に5秒ずつ(規程時間外の扱い)のテストパターンを録画する。様式5による。(テストパターンを改変したり、BGMをつけたりしないこと)

イ 台本は様式1-1を使って右開きに閉じ、仕上がりをA5版で提出する。1ページを表紙、2ページに制作意図を記入する。3ページ以降は各校でつくり、最終ページにはスタッフ・キャストおよび著作権に関する使用内容を記入する。台本は3部(コピー可)提出する。

ウ 5分以上8分以内でまとめる。(テストパターンの間を計測する)

エ テレビ放送の再録等を加えたものは認めない。

オ 提出のDVDは、DVD-VIDEO形式(NTSC規格 アスペクト比4:3か16:9のいずれか)で録画されたDVD-Rで、メニューは付けないこと。複数の一般の機材(DVDプレーヤー)で再生できることを確認すること。

カ DVDのラベルは様式4に従って記入し、貼付する。

キ 提出DVD-Rのインデックスは、全国放送コンテストの規定と同じとする。

※次の場合も失格となりますのでご注意ください

- ・アナウンス部門は(1)ウ、朗読部門は(2)アが不備なもの。
- ・ラジオ番組部門は、作品の最後に入れるクレジットコールが不備なもの。
- ・テレビ番組部門は、番組の最後に録画するテストパターンが不備なもの。
- ・本コンテストは著作権法に基づいて審査を行うので、著作権に関する使用内容を守ること。(詳細は別紙 著作権に関する記述内容、また「著作権について」全国大会参加規定(ピンク色の冊子)。または、全国の放送コンテストのホームページ http://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_j/pdf.html を参考のこと)

8 審 査

審査は、主催者が委嘱した審査員(NHK仙台放送局、指導主事、役員の教員等)が、次の審査上の視点によって行います。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、審査の公開は行いません。

(1) アナウンス部門

原 稿：素材の選び方、文章表現、内容

アナウンスメント：内容の把握、表現の仕方、テンポ、ポーズ、マイクの使い方、発音、発声、アクセント、イントネーション

(2) 朗読部門

原 稿：作品の選定、朗読部分の抽出の仕方

アナウンスメント：内容の把握、表現のしかた、テンポ、ポーズ、マイクの使い方、発音、発声、アクセント、イントネーション

(3) ラジオ・テレビ番組部門

テ ー マ：各校の制作意図をもとに、学校の実態や地域性等を考えた適切な素材を選んでいるか。

取材・構成・演出・編集：設定したテーマのもと、効果的で適切な番組制作の手順をふまえているか。

制作技術：録音、撮影、ナレーション、音響効果などが作品の質を高めているか。

9 表 彰

部門ごと、金賞・銀賞・銅賞を入賞とし、若干名を入選とします。入賞者には賞状、副賞としてメダルが授与されます。なおアナウンス部門と朗読部門は入賞者から最大各6名まで、ラジオ・テレビ番組部門は金賞・銀賞入賞者から最大各3名までが全国大会にエントリーされます。

※ 全国大会には、アナウンス・朗読部門について、同一人物が両部門にエントリーすること

はできませんのでご了承ください。

- ※ コンテストの入賞・入選者等の一覧表は、後日全参加校へ送付します。
- ※ 入賞・入選者の賞状及び副賞は、後日郵送にて当該校へ郵送します。また、全国大会へエントリーする作品が含まれる場合には、全国大会参加費の振込用紙も同封しますので、期日を守って振り込んでいただきますようお願いいたします。

10 その他

今年度も、この大会で入賞し、全国大会へエントリーされた場合、CD、DVDがそのまま全国大会の事務局に郵送されますので、全国大会前の作品のとり直しができません。

○主催・後援（予定）

主 催	宮城県連合中学校教育研究会視聴覚教育研究部会 宮城県学校視聴覚教育協議会 NHK仙台放送局
後 援	宮城県教育委員会、仙台市教育委員会
主 管	仙台市中学校教育研究会視聴覚教育研究会

○様式の諸規定

全国放送コンテストの規定と同じとします。なお**全国大会の参加規定**の冊子は3月に各校にNHKから送付されています。

https://www.nhk-sc.or.jp/kyoiku/ncon/ncon_j/pdf.html

もしくは「NHK中学校放送コンテスト」で、検索してください。

全国大会の参加規定の冊子をコピーするか、NHKホームページよりダウンロード

様式1-1

様式1-2

様式2

様式3

様式4

テレビ番組部門テストパターン **様式5**も、ダウンロードしてください。

◎様式の諸規定については、「参加規定」のP5～P6を参照

◎CDおよびDVDのラベル記入については「参加規定」のP10～P11を参照
「地区名」「エントリーNo.」は記入しないでください。

◎著作物の使用に関しては、P13を参照

※ **宮城県大会では、各部門3部の原稿を提出してもらいます。**

第41回 宮城県中学校校内放送コンテスト 参加申込書

学校名 _____ 中学校

学校所在地 〒 _____

TEL _____ () _____ メールアドレス _____

担当者 _____ 所属長 _____ 印

今年からアナウンス部門・朗読部門は3名出場できます。

アナウンス部門		朗読部門	
氏名 (ふりがな)	学年	氏名 (ふりがな)	学年
1 ()		1 ()	
2 ()		2 ()	
3 ()		3 ()	
番組制作部門			
項目	ラジオ ・ テレビ (○で囲んでください)		
番組名			
制作者名	(委員会、グループ名) 名		
制作の意図			
番組の概要			
制作日	令和6年 月 日	番組時間	分 秒

※ 必要に応じてコピーしてご使用ください。

※ メールアドレスは学校のものでも担当の先生のものでもかまいません。後日各種連絡のメールを送ることがあります。提出締切 FAX→6月 6日(木)まで